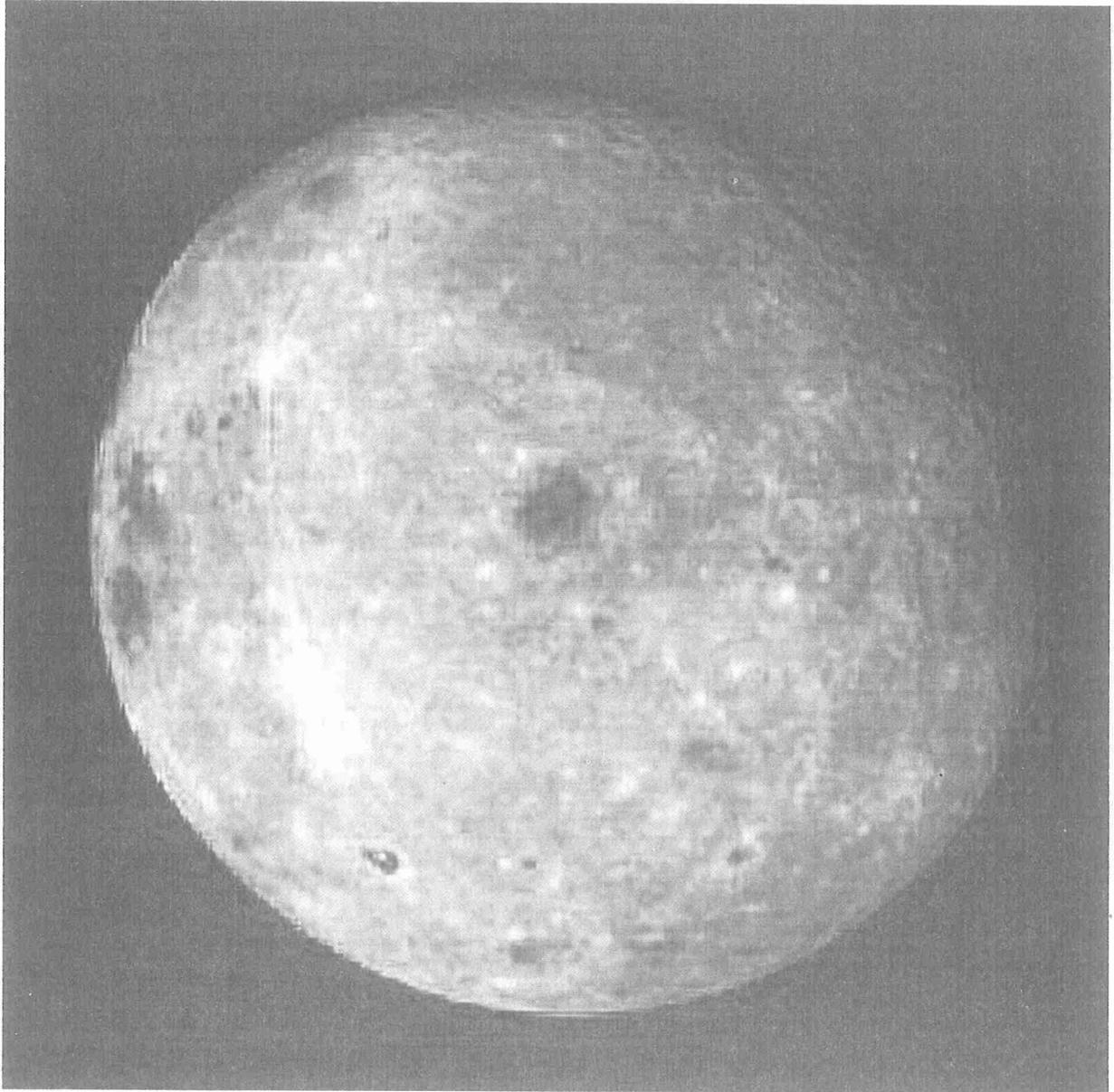


30卷3号 平成10年12月

東京大学

大学院理学系研究科・理学部

廣報



表紙の説明

7月4日に、日本初の火星探査機「のぞみ」が鹿児島内之浦の宇宙科学研究所宇宙空間観測所より打ち上げられた。「のぞみ」は9月24日に、月の重力を利用して加速するスイングバイに成功して、表側のクレーター地形や裏側の全面の撮影に成功した。この写真は、「のぞみ」の撮影した、月の裏側の姿である。ほとんどが、アルベドの高い高地地域である。中央部の暗いところはモスクワの海である。

「のぞみ」は、12月に再び月と地球にスイングバイをして加速を受けて、地球から火星への遷移軌道に乗る。火星に到着して、火星周囲の観測を始めるのは来年10月である。

佐々木 晶 (地質学専攻)
sho@geol.s.u-tokyo.ac.jp